

令和3年度事業報告書

はじめに

公益財団法人おおいた共創基金は、平成25年の設立以来、行政、企業等が対応しきれない分野の地域課題の解決に取り組むNPO団体の活動を支援しています。

新型コロナウイルス感染拡大の終息が見通せない中、社会経済活動が縮小し、これまで以上に様々な課題の発生やその多様化が予想されるため、基金としても様々な関係機関と一層の連携を図りながらNPO団体への支援を継続していきます。

1 資金的活動基盤強化事業

(1) OA機器助成事業

平成27年度から実施しており、引き続き、NPO団体からのニーズが多いOA機器助成事業を実施した。

31団体から応募があり、申請内容（OA機器の必要度など）及びNPO活動の実績等について審査し、23団体に対して助成を行い、令和4年3月9日に開催した「第9回めじろんフォーラム」において、助成団体にOA機器を贈呈した。

ノートパソコン：12団体、プリンター：7団体、プロジェクター：4団体

※総額：1,240,525円

(2) NPO基盤強化支援事業

平成28年度から実施している。

県内NPO団体が自ら寄付金集めのノウハウを身につけることにより、その基盤強化に取り組み、地域課題解決のための継続的な活動ができるよう支援を行うもの。

令和3年度は2団体を採択した。

・NPO法人 チーム1.5おおいた	100,000円
・特定非営利活動法人 おおいたの水と生活を考える会	11,000円

(3) ふるさと創生NPO活動応援事業

本事業は、NPO団体が行う地域活性化又は地域の課題解決など、ふるさとの創生を推進する取組みに対して、支援することによりNPO団体の育成及びその公益活動を県民全体で支える地域社会の創生を目指し、本年度は6団体の事業に対して助成をし、伴走支援を行った。

令和3年度ふるさと創生NPO活動応援事業の概要

単位 千円

採択NPO法人	事業概要	補助金額	採択NPO法人	事業概要	補助金額
NPO法人 大分県協育アドバイザー ネット 理事長 中川 忠宣	コミュニティ・スクールの導入と、地域学校協働本部の整備に関する取組事例を収集し、事例集を作成するとともに、事例集等の資料を活用した研修会を実施した。	420	NPO法人 子育て応援レストラン 理事長 若林 優子	フードパントリー事業の拡大に向け、食材保管用の冷蔵庫や来場者の憩いの場となるテント、日よけパラソル、椅子等の環境整備を行い、より充実したフードパントリー事業ができるようになりました。また、食材提供の協賛企業及び寄付の募集を効果的に行えるようにホームページの改修を行いました。	600
星の会(不登校・ひきこもりを考える親の会) 代表 加嶋 文哉	子どもの不登校で悩む保護者や支援者が不登校の最新の情報を得やすくし、子供の社会的自立を促すために、「星の会」のホームページのリニューアルを実施した。 ①スマホ対応のシステム導入 ②不登校に関する最新情報の提供	563	特定非営利活動法人 碧い海の会 理事長 平田 利文	常設型のサロンづくりに取組むことを目的に、①子ども食堂(学習指導含む。)、②お年寄り食堂(生活習慣病改善指導含む。)、③外国人食堂(留学生・在留者向け)、④障がい者食堂(農福連携。障がい者就業支援)を行った。	600
特定非営利活動法人 さがのせき・彩彩カフェ 理事長 山田 悠二	人口減少が続く佐賀間の活力を取り戻し、将来にわたって持続可能な地域を築いていくための活動につなげるための事業。関崎駐車場横に設置した「森づくり案内所」周辺に花壇や椅子を設置し、ここを拠点として、季節ごとに県内の大学生や佐賀県地区内外の方々を対象として「地域体験活動」を実施した。	445	予防カフェ 代表 後藤 順子	福祉と女性の視点から自助、共助の在り方を再検証して「今やろう！命を守る7つの備え」に取りまとめることとし、福祉等専門家の意見、支援者や障がい者の意見などを取り入れ、また、防災訓練での実地検証を行いながら、災害情報の収集方法や避難経路の事前確認など、各個人が今すぐ取り組むべき対策をカテゴリー別にイラストで分かりやすく構成した冊子を作成しました。	600

(4) 冠助成事業

企業訪問時に「〇周年記念行事」等、企業名や商品名などを冠した助成事業について打診し、協力可能ならば予算化をお願いしたが、実現しなかった。

2 運営的活動基盤強化事業

(1) おおいたNPO・県民フォーラム2021(参加人数 117名)

令和3年12月22日(金) J:COMホルトホールにおいて開催した。

「SDGsでつなぐ新たな暮らし～地域創生はパートナーシップから～」をテーマに、地域課題解決に向けてのヒントを探すとともに、コロナ後を見据え、SDGsをきっかけに多様な主体が協働して課題解決に取り組むことを目指した。

① 講演 講師 立教大学特任教授 河口 真理子 氏

② 「令和3年度企業のNPO現場体験活動」報告

ア 派遣企業 二豊フーズ株式会社 疋田 和音 氏

体験元 NPO法人しげまさ子ども食堂 -げんき広場- 首藤 文江 氏

イ 派遣企業 生活協同組合コープおおいた 後藤 由布 氏

体験元 NPO法人Teto Company 発表なし

ウ 派遣企業 クンチョウ酒造株式会社 富安 大二郎 氏

体験元 NPO法人リエラ 河津 由美 氏

エ 派遣企業 株式会社古城 工藤 淳史 氏、寒川 菜央 氏、高野 航志 氏
体験元 特定非営利活動法人地域ひとネット 野尻 可奈 氏

(2) 企業等CSR活動とNPO活動の推進に関する委員会 (H29. 8. 21設置)

おおいた共創基金の役割が多く企業等から理解され、支援の輪が広がり、県内各地域において企業等とNPO団体との協働が構築され、少しでも多くの地域課題の解決が図られることを目的として開催した。

①第1回CSR推進委員会開催 11/24 (水)

②第2回CSR推進委員会開催 3/4 (金)

(3) 第9回めじろんフォーラム (参加人数 66名)

令和4年3月9日 (水) アイネスにおいて開催した。

「企業とNPOとの協働」をテーマに、県内各地域で活動するNPO・ボランティア団体と、社会貢献活動 (CSR活動) に取り組む企業や団体等とのパートナーシップ構築を促進し、少しでも多くの地域課題の解決が図られることを目的とした。

①企業・団体への感謝状贈呈 13法人

②助成金及び助成物品の贈呈 ・基盤強化事業 2団体

・OA機器助成 23団体

③講演 演題 「伝える技術で広げよう！協働の輪」

講師 株式会社ドリームプロモーション代表 つだ つよし氏

④ふるさと創生NPO活動応援事業活動報告 6団体

(4) NPOセンター事業

今年度もコロナウイルス感染症拡大の影響で、Zoom配信も同時に行った。配信方法等の改善点はあるものの、好評であった。オンライン配信は欠かせないものとなってきている。より精度をあげて対応していきたい。

①スキルアップ講座

・事務健康診断 6/29 (火) 講師：雪松直子氏

・Zoom実践編 7/29 (木) 講師：安東隆行氏

・資金調達 8/4 (水) 講師：二宮基陽氏

・助成金 9/7 (火) 講師：谷川真奈美氏

・決算書・報告書 2/25 (金) 講師：高柳陽子主幹 (大分県県民活動支援室)

②チャレンジセミナー 10/22 (金)

「NPO活動における効果的な情報発信の仕方」

講師：松井督治氏 (アナウンサー・運営アドバイザー)

③出張個別相談会

・中津：3/1 (火) ・日田：3/10 (木) ・竹田：3/17 (木)

④会計フォローアップ講座 2/8 (火) 運営アドバイザー：松尾直美氏

⑤相談業務

・相談件数等

開館日数	242日/年
来館者総数	171人/年
電話対応件数	134件/年
年間相談件数	291件/年
相談内訳 (来訪：29 電話：91 メール：171)	

・相談内容内訳

助成金	26件	8.9%
広報	0件	0.0%
会計・税務	2件	0.7%
団体設立	8件	2.7%
団体運営	4件	1.4%
提出書類	6件	2.1%
おんぼ登録等	5件	1.7%
情報提供依頼	36件	12.4%
企業CSR	0件	0.0%
運営アドバイザー関係	72件	24.7%
講座・セミナー関係	95件	32.6%
リーススペース利用	0件	0.0%
印刷機利用	1件	0.3%
機材・書籍貸出	0件	0.0%
その他	36件	12.4%
合計	291件	100%

⑥運営アドバイザー派遣

年度当初に、財務会計や人事労務、税務、経営戦略などの分野、15名の派遣アドバイザーを委嘱し、NPO団体のニーズに応じて、年間62件の派遣を行った。

3 地域課題の分析と研究

(1) 大分大学との連携

大分大学と連携して、「令和3年度大分県NPO団体等の現状把握に関する調査」を実施した。本年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響、災害への備えやおおいたNPO情報バンク「おんぼ」の利用状況についての調査を行った。

今後のNPO団体への支援を検討するための資料とする。

(2) 大分市（ライフパル）との連携

大分市のNPO団体数は県全体の約半数を占めていることから、NPO団体への支援を大分市と連携して進めるために定期協議等を行った。

- ①第1回定期協議「本年度の事業について」 5/13（木）
- ②第2回市民活動・NPO運営基盤強化講座への参加 9/28（火）
- ③第3回市民活動・NPO運営基盤強化講座への参加 10/26（火）
- ④第5回おおいたNPO博へ出展 11/23（火）
- ⑤第2回定期協議「令和3年度事業実施状況、令和4年度事業計画」 3/24（木）

(3) 休眠預金事業の実施

佐賀未来基金を幹事とする九州5県（佐賀、福岡、長崎、宮崎、大分）による「新型コロナウイルス禍における緊急被災者支援事業」（休眠預金活用事業）を、特定非営利活動法人地域ひとネット及び特定非営利活動法人リエラが実行団体として事業実施した。

事業内容

- ・事業名 新型コロナウイルス禍における緊急被災者支援事業
- ・実施時期 2021年4月～2022年2月
- ・形態 九州5県によるコンソーシアムで実行団体を公募、大分県からは2団体の採択。

実行団体の実施状況

①特定非営利活動法人地域ひとネット「おおいた・いとでんわプロジェクト」

助成金額 9,985千円

- ・WEBサイト（システム）を構築し災害時の避難場所選択の情報提供と、要配慮者ニーズを吸上げ支援団体に迅速に伝達することを目的として以下の事業を実施した。

【ホテル調査】・一時避難施設としてのホテルバリアフリー調査～150件

- ・要配慮者の事前登録・災害時の連携

～ホテル登録59社、要配慮者登録149人

【システム開発】・バリアフリーホテル情報発信

～12月HP掲載、2月各市町村社協あて冊子送付

【結び手】・地域のキーパーソンになる個人や企業の発掘、登録～46団体

- ・オンライン災害訓練～2/9実施46名参加

② 特定非営利活動法人リエラ「コロナ禍における被災者の心の3密拡大」

助成金額 10,000千円

コロナ禍で更に深刻化した、散在する被災者の孤立や孤独に対して個別訪問を行い、被災者の見える化を行い、一人一人の被災者の生活状況を鑑みて、包括的な生活支援（災害ケースマネジメント）を実施した。

ア R2年7月豪雨災害・みなし仮設住宅入居52世帯の個別状況に合わせた包括的な支援体制の構築及び課題解決～コロナ感染が拡大した時は電話対応するなどして、被災者とコミュニケーションをとった。継続して声掛けができたことで課題を抱えている被災者を把握することができた。

個別訪問件数～452回

イ 県内被災自治体との会議

当方の取り組みや情報共有会議開催を県内被災自治体が知ることによって他自治体の被災者支援活動に繋がった。

見守り支援ミーティング回数5回、県内被災自治体との会議数数～1回

ウ 日田市の令和2年7月豪雨に関わる情報を掲載した災害復興情報紙の作成
災害復興情報紙「いっばいっば」を定期的を作成し、配布した。これにより、被災地の復興状況が伝わり、再建場所として元の場所に戻ることも選択肢のひとつになった。災害復興情報しんぶんの発行数～5回

エ コロナ禍の困り事の把握のためのアンケート実施

アンケート実施により、訪問時の被災者の様子やアンケート結果をもとに行政や社協等と課題について検討することができた。

(4) SDGsの普及・啓発

12月22日(金)「おおいたNPO・県民フォーラム2021」を開催し、テーマを「SDGsでつなぐ新たな暮らし～地域創生はパートナーシップから～」とし、SDGsの普及・啓発を図った。

4 基金の強化事業

(1) 広報活動

- ① フェイスブック及びホームページへの随時投稿及び更新を行うとともに、めじろんNEWS (NO. 21～23) を発行した。
- ② OBSラジオ「松井督治のNEWS WAVE」に令和3年4月から9月まで毎月第4木曜日に出演の機会をいただき、NPO団体のPRを行った。
- ③ 賛助会員証配布、めじろんグッズ(ジャンパー、ティッシュ、ボールペン、メモ帳、のぼり旗等)の配布、貸与を行った。

(2) 募金活動

① 賛助会員等からの寄付金

ア 前年度の企業・団体賛助会員(67会員)への継続依頼

訪問及び書面で継続依頼…65会員が継続加入、2会員が継続不可であった。

イ 新規の企業・団体賛助会員の獲得

新規の賛助会員拡大を目指し、23の企業・団体へ訪問を行い、4社の新規会員を獲得した。

※ 企業・団体賛助会員：69会員、寄付金額：1,240,000円

ウ 個人賛助会員の獲得

賛助会員加入の勧誘のため、県職員OB等へお願い文書を送付した。

※ 個人賛助会員：7人、寄付金額：66,000円

② 募金箱による募金

ア 店舗設置の募金箱

設置か所：74か所

※ 募金箱の募金総額：807,139円

イ イベント等設置の募金箱

※ 設置回数：1回、募金総額：7,982円

③ 寄付金付き自動販売機による寄付金

ア 大分航空ターミナル(株)からの寄付金(100,000円)を、R3.4.9にホテルニューツルタにおいて受領した。

イ その他の自動販売機4台分(33,904円)は、自販機設置業者から随時に口座振込された。

※ 寄付金総額：133,904円

5 経常的業務

(1) 監事監査 5/10(月)、5/17(月)

(2) 第41回理事会 「令和2年度事業報告及び決算報告、評議員選定委員の選任、
評議員候補者の推薦」 5/20(木)

(3) 第10回評議員選定委員会 「評議員の選任」 5/24(月)

(4) 第12回定時評議員会 「令和2年度事業報告及び決算報告」 6/7(月)

(5) 第42回理事会 「令和3年度主要事業進行管理、休眠預金事業」 10/1(金)

(7) 第43回理事会 「令和3年度主要事業進行管理、寄付実績、おおいたNPO県民
フォーラム2021」 12/16(木)

(8) 第44回理事会 「令和4年度事業計画(案)、令和4年度収支予算(案)、
令和3年度主要事業進行管理、寄付実績、休眠預金事業」

3/16(水)

令和3年度決算報告書

自 令和 3年 4月 1日

事業年度

至 令和 4年 3月 31日

公益財団法人おおいた共創基金

大分市大津町2丁目1番41号
大分県総合社会福祉会館2階

貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位 円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金及び預金	6,337,127	4,811,737	1,525,390
未収入金	643,456	803,835	△ 160,379
前払金	211,286	176,666	34,620
流動資産合計	7,191,869	5,792,238	1,399,631
2 固定資産			
(1)基本財産			
普通預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2)特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3)その他固定資産			
什器備品	501,188	0	501,188
その他の固定資産合計	501,188	0	501,188
固定資産合計	3,501,188	3,000,000	501,188
資産合計	10,693,057	8,792,238	1,900,819
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	2,300,675	2,322,094	△ 21,419
預り金	261,672	261,338	334
流動負債合計	2,562,347	2,583,432	△ 21,085
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	2,562,347	2,583,432	△ 21,085
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	0
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	5,130,710	3,208,806	1,921,904
(うち特定資産への充当額)			
正味財産合計	8,130,710	6,208,806	1,921,904
負債及び正味財産合計	10,693,057	8,792,238	1,900,819

貸借対照表内訳表

令和4年3月31日現在

(単位 円)

科目	公益目的 事業会計	法人会計	内部取引 消去	合計
I 資産の部				
1 流動資産				
現金及び預金	5,216,717	1,120,410		6,337,127
未収入金	643,456	0		643,456
立替金	99,990	0	99,990	0
前払金	76,698	134,588		211,286
流動資産合計	6,036,861	1,254,998	99,990	7,191,869
2 固定資産				
(1)基本財産				
普通預金	0	3,000,000		3,000,000
基本財産合計	0	3,000,000	0	3,000,000
(2)特定資産				
特定資産合計	0	0	0	0
(3)その他固定資産				
什器備品	501,188	0		501,188
その他の固定資産合計	501,188	0	0	501,188
固定資産合計	501,188	3,000,000	0	3,501,188
資産合計	6,538,049	4,254,998	99,990	10,693,057
II 負債の部				
1 流動負債				
未払金	2,293,422	7,253		2,300,675
預り金	261,672	0		261,672
仮受金	99,990	0	99,990	0
流動負債合計	2,655,084	7,253	99,990	2,562,347
2 固定負債				
固定負債合計	0	0		0
負債合計	2,655,084	7,253	99,990	2,562,347
III 正味財産の部				
1 指定正味財産				
指定正味財産合計	0	3,000,000		3,000,000
(うち基本財産への充当額)	0	(3,000,000)		(3,000,000)
2 一般正味財産				
一般正味財産合計	3,882,965	1,247,745		5,130,710
(うち特定資産への充当額)				
正味財産合計	3,882,965	4,247,745		8,130,710
負債及び正味財産合計	6,538,049	4,254,998	0	10,693,057

正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位 円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	28	28	0
② 受取会費	1,306,000	1,403,000	△ 97,000
賛助会員会費	1,306,000	1,403,000	△ 97,000
③ 事業収益	15,995,995	16,091,340	△ 95,345
受託事業収益	15,995,995	16,091,340	△ 95,345
④ 受取補助金等	3,780,000	1,680,000	2,100,000
受取地方公共団体補助金	3,780,000	1,680,000	2,100,000
⑤ 受取寄付金等	2,086,062	831,110	1,254,952
受取寄付金	2,086,062	831,110	1,254,952
⑥ 雑収益	79	65	14
受取利息	79	65	14
雑収益	0	0	0
経常収益計	23,168,164	20,005,543	3,162,621
(2) 経常費用			
① 事業費	21,132,614	19,662,327	1,470,287
給料手当	9,839,040	9,839,040	0
福利厚生費	76,046	73,960	2,086
法定福利費	1,440,143	1,398,610	41,533
旅費交通費	877,206	548,515	328,691
通信費	826,555	878,604	△ 52,049
消耗品費	240,181	242,755	△ 2,574
水道光熱費	195,354	183,895	11,459
広告宣伝費	266,420	464,939	△ 198,519
賃借料	108,440	138,960	△ 30,520
支払報酬	1,051,046	991,759	59,287
支払助成金	4,579,525	3,418,150	1,161,375
租税公課	726,900	731,600	△ 4,700
リース料	41,976	41,976	0
外注費	257,200	378,200	△ 121,000
事務用品費	0	0	0
支払手数料	56,125	61,890	△ 5,765
減価償却費	241,312	0	241,312
雑費	309,145	269,474	39,671
② 管理費	113,646	123,675	△ 10,029
福利厚生費	21,507	21,507	0
旅費交通費	15,467	26,915	△ 11,448
通信費	2,284	5,300	△ 3,016
消耗品費	0	9,680	△ 9,680
支払手数料	1,595	1,100	495
賃借料	29,040	44,370	△ 15,330
租税公課	600	1,650	△ 1,050
雑費	43,153	13,153	30,000
経常費用計	21,246,260	19,786,002	1,460,258
当期経常増減額	1,921,904	219,541	1,702,363
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替前一般正味財産増減額	1,921,904	219,541	1,702,363
一般正味財産増減額	1,921,904	219,541	1,702,363
一般正味財産期首残高	3,208,806	2,989,265	219,541
一般正味財産期末残高	5,130,710	3,208,806	1,921,904
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
III 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	8,130,710	6,208,806	1,921,904

正味財産増減計算書内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位 円)

科目	公益目的 事業会計	法人会計	内部取引 消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 特定資産運用益	0	28		28
② 受取会費	1,186,000	120,000		1,306,000
賛助会員会費	1,186,000	120,000		1,306,000
③ 事業収益	15,995,995	0		15,995,995
受託事業収益	15,995,995	0		15,995,995
④ 受取補助金等	3,780,000	0		3,780,000
受取地方公共団体補助金	3,780,000	0		3,780,000
⑤ 受取寄付金等	2,086,062	0		2,086,062
受取寄付金	2,086,062	0		2,086,062
⑥ 雑収益	41	38		79
受取利息	41	38		79
雑収益	0	0		0
経常収益計	23,048,098	120,066		23,168,164
(2) 経常費用				
① 事業費	21,132,614	0		21,132,614
給料手当	9,839,040	0		9,839,040
福利厚生費	76,046	0		76,046
法定福利費	1,440,143	0		1,440,143
旅費交通費	877,206	0		877,206
通信費	826,555	0		826,555
消耗品費	240,181	0		240,181
水道光熱費	195,354	0		195,354
広告宣伝費	266,420	0		266,420
賃借料	108,440	0		108,440
支払報酬	1,051,046	0		1,051,046
租税公課	726,900	0		726,900
支払助成金	4,579,525	0		4,579,525
リース料	41,976	0		41,976
外注費	257,200	0		257,200
事務用品費	0	0		0
支払手数料	56,125	0		56,125
減価償却費	241,312	0		241,312
雑費	309,145	0		309,145
② 管理費	0	113,646		113,646
福利厚生費	0	21,507		21,507
旅費交通費	0	15,467		15,467
通信費	0	2,284		2,284
消耗品費	0	0		0
支払手数料	0	1,595		1,595
賃借料	0	29,040		29,040
租税公課	0	600		600
雑費	0	43,153		43,153
経常費用計	21,132,614	113,646		21,246,260
当期経常増減額	1,915,484	6,420		1,921,904
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0		0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0		0
当期経常外増減額	0	0		0
他会計振替前一般正味財産増減額	1,915,484	6,420		1,921,904
他会計振替額	310,758	△ 310,758		0
一般正味財産増減額	2,226,242	△ 304,338		1,921,904
一般正味財産期首残高	1,656,723	1,552,083		3,208,806
一般正味財産期末残高	3,882,965	1,247,745		5,130,710
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0	0		0
受取寄付金	0	0		0
当期指定正味財産増減額	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	3,000,000		3,000,000
指定正味財産期末残高	0	3,000,000		3,000,000
III 正味財産期末残高				
正味財産期末残高	3,882,965	4,247,745		8,130,710

財産目録

令和4年3月31日現在

(単位 円)

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	11,880		
普通預金 大分銀行 支店 6919656	2,724,559		
普通預金 大分銀行 支店 7502470	1,391,356		
普通預金 豊和銀行 本店 1407991	917,570		
普通預金 豊和銀行 本店 1412022	1,419		
普通預金 大分県信用組合 本店 4103776	1,296		
普通預金 大分信用金庫 本店 1153326	72,059		
普通預金 日田信用金庫 本店 0284439	82,053		
普通預金 大分みらい信用金庫 本店 9427658	11,838		
振替貯金 ゆうちょ銀行 支店 01750-9-72685	44,362		
普通預金 大分銀行 支店 7658695	92,760		
普通預金 九州労働金庫 6496978	46,128		
普通預金 大分銀行 支店 7604961	938,844		
普通預金 大分銀行 支店 7658695	1,003		
現金預金小計	6,337,127		
未収入金 大分県 受託事業費	643,456		
前払金 労働保険料	211,286		
流動資産合計		7,191,869	
2 固定資産			
(1)基本財産			
普通預金 大分銀行 支店 7522679	3,000,000		
基本財産合計	3,000,000		
(2)特定資産			
特定資産合計	0		
(3)その他固定資産			
什器備品 パソコン5台	501,188		
その他の固定資産合計	501,188		
固定資産合計		3,501,188	
資産合計			10,693,057
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金 消費税	361,400		
未払金 3月分給与	705,174		
未払金 3月分社会保険料	121,716		
未払金 備品購入代金 レイメイ藤井	148,500		
未払金 支払助成金	771,925		
未払金 3月経費	191,960		
未払金小計	2,300,675		
預り金 3月分源泉税・社会保険料等	261,672		
流動負債合計		2,562,347	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			2,562,347
III 正味財産の部			8,130,710

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的有価証券…総平均法に基づく原価法
その他有価証券…決算日の市場価格に基づく時価法(売却原価は総平均法により算定)
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法…最終仕入原価法
- (3) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産…法人税法の規定に基づく定率法
無形固定資産…法人税法の規定に基づく定額法
- (4) 引当金の計上基準
貸倒引当金…債権の回収可能性を個別に見積り計上している。
- (5) リース取引の処理方法
通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。
- (6) 消費税の会計処理
税込方式によっている。

2 会計方針の変更

該当なし

3 表示方法の変更

該当なし

4 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高の内訳は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	3,000,000	0	0	3,000,000
合計	3,000,000	0	0	3,000,000

5 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	指定正味財産 からの充当額	一般正味財産 からの充当額	負債に対応 する額
基本財産				
普通預金	3,000,000	(3,000,000)		0
合計	3,000,000	(3,000,000)		0

6 担保に供している資産

該当なし

7 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

科目	取得価額	償却累計額	当期末残高
什器備品	742,500	241,312	501,188

8 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残

該当なし

9 保証債務等の偶発債務

該当なし

10 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11 補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当なし

12 基金及び代替基金の増減額およびその残高

該当なし

13 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当なし

14 関連当事者との取引の内容

該当なし

15 重要な後発事象

該当なし